

馬鈴薯の収穫



まぐべつ

'79

333

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴー印刷

10

今年の教育行政に使われるお金は十二億八千四百万円。このなかで特に大きな割合を占めているのが棟

内小、中学校の校舎改築事業や札内南小学校体育館

建設事業など学校教育施設の整備です。これまでに

も幕別小学校や札内中学校など四校が永久校舎とな

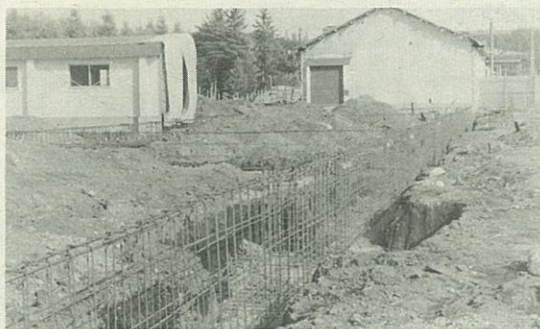
り、今年の工事が終わりますと、町の学校教育施設は

七一・五%が永久校舎となります。今月は、これら

事業について、お知らせいたします。

教育施設の整備すすむ

71.5_{パーセント}が永久校舎に



糠内小学校の改築工事現場

総合計画の四本柱のひとつである「明日への町づくり」として、町では次代をなう子供たちに、より恵まれた自然環境と充実した施設の中で教育が受けられるようにと、教育施設の整備を積極的に進めてきました。

今年には糠内小学校、糠内中学校の改築工事が急ピッチで進められ、また、二年目をむかえた札内南小学校では体育館と言語治療教室の建設工事が行なわれ、これら工事が総て終わりますと、町の学校教育施設は七一・五%が永久校舎とな

ります。

現在すすめられている学校教育施設と青葉保育所の建設状況は次の通りです。

近く近代的校舎に

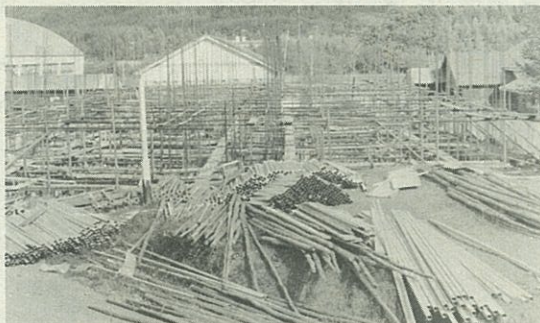
糠内小学校

糠内小学校は一億二千三百万円をかけ図工室、家庭科室、音楽室など九百三十五平方メートルが改築されます。完成は十二月二十日の予定です。昨年、体育館を増改築していますので、間もなく近代的校舎に生れ変わることになります。

集中暖房を採用

糠内中学校

糠内中学校は一億六千七百九十万円を投じて普通教室三、家庭科室、理科室など千三百八十五平方メートルを増改築します。



糠内中学校で改築が進められています

また、暖房も集中暖房となり、完成は十二月二十日の予定です。

言語治療教室も

札内南小学校

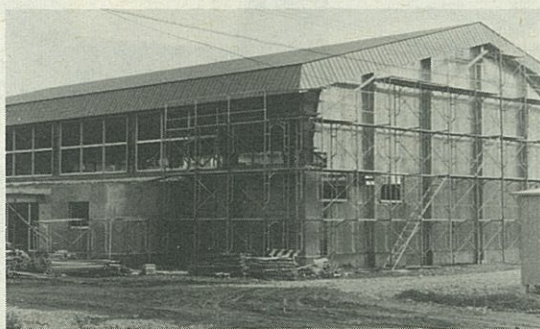
人口増加のばげしい札内地区に二番目の小学校として建設された札内南小学校は昭和五十三年に開校しましたが、現在、二期目の工事である体育館七百七十五平方メートルと言語治療教室など百七十四平方メートルが建設されています。

工事はすでに六〇%が終り、十一月十日の完成を目ざして工事が進められています。

十二月中旬に完成

青葉保育所

町内最大規模の保育所である青葉保育所は、旧札内中学校校舎を仮りの保育所として今年四月に開



間もなく完成する南小体育館

別途地区

無火災900日を突破 公区の運動会で消火実験

九月六日に開催された別途公区の運動会で、消防第二分団別途班主催の消火器による消火実験がグラウンド中央で実施されました。

これは昭和五十二年三月九日に日新地区で原因不明の火災が発生してから無火災をつづけ、これが八百日をこえたのを記念

して、更に防火思想の普及を目的に実施したもので、火災の恐ろしさと初期消火の大切なことを地区の方々も認識しました。別途地区の無火災は、その後もつづき、九月末で九百日を突破しています。なお、日一日と寒くなり、これからストーブの使用が多くなってくるため、十月十五日から三十一日までの間、秋の火災予防運動が①暖房器具の取り付けおよび使用する際の安全確認②安全な避難体制の確保を重点目標として展開されます。火の元には十分にご注意ください。

所しましたが、青葉町三百十番地（札内福祉センター北側）に総工費九千七百四十万円で建築に着手しました。完成は十二月二十日の予定。定員は百五十人。

十九人、一団体を表彰

幕別町功労者表彰式

開町記念日に開催

昭和五十四年度幕別町功労者等の表彰式が開町記念日に町民会館で開催されました。表彰された方は全道競技大会で優勝した幕高アーチエリー部など十九人、一団体でした（敬称略）



自治功労

伏屋 隆徳(54)
(町議・寿町)



自治功労

山崎 長一(58)
(町議・緑町)



自治功労

千葉 清見(65)
(農業・南勢)



自治功労

細川 吉松(67)
(農業・あかしや)



自治功労

廻渕 茂(68)
(町議・相川)



産業功労

山田 久一(68)
(農業・美川)



産業功労

浦滝 敬(77)
(農業・千住)



社会功労

早津健次郎(63)
(商業・錦町)



社会功労

滝川 登(63)
(商業・本町)



自治功労

国枝 光明(52)
(町議・中里)



スポーツ奨励

西出 元(46)
(高校教員・南町)



文化奨励

松井 多平(50)
(国鉄職員・宝町)



産業功労

棚 健次郎(76)
(無職・錦町)



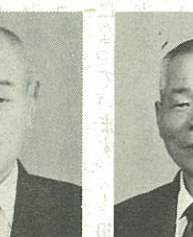
産業功労

坂本 栄一(82)
(農業・新川)



産業功労

高橋 建一(75)
(農業・豊岡)



産業功労

小山 松高(67)
(農業・相川)

初出展で新道展入選

こんにちは

西垣 美治子さん

札内あかしや町の西垣美治子さんが第二十四回新道展に入選しました。

西垣さんが油絵の魅力に引かれたのは四年前。今回、初出展で見事入選した作品は、紙ふうせんを打ちあげた少女の姿に過去と現在を描いたものだそうです。

これまでの作品のほとんどは記憶や想像などによっ



スポーツ奨励

村田 達也(15)
(学生・駒皇)



スポーツ奨励

斉藤 剛(17)
(学生・本町)



善行賞

島田 茂喜(65)
(無職・緑町)



スポーツ奨励

幕別高校アーチエリー部



で、今年、大雪山の頂上で目にした花がとても美しく、この次は山に咲く花を描きたい」と語っていました。

て、直観的に心に思い浮かぶ形を描く心象画に属するものですが「登山が好き

10月7日午前10時から

募別温泉ホテル前広場で開催

業まつり & ふるさと館 無料解放

鯉のつかみ取りを、今年も二千匹を用意し希望者に手づかみで捕っていただくほか、子供さんに人気のポニー乗馬会、カラオケのど自慢、チビッコ大相撲大会を、それぞれ開催いたします。

また、開拓時代から受けつがれてきた糠内獅子舞いが、昨年同様に出演するほか、幕別文化クラブの皆さんが太鼓と獅子を組みあわせ練習を重ねてきた「幕別豊年太鼓」を、はじめて披露することになっています。

なお、会場では牛肉の即売会と、家族づれに好評のパーベキューコーナ、各種の売店も軒を並べることになっていますが、幕別温泉ホテルでは、午前10時から午後三時までの間、大広間を解放し自由に休んでいただくことになっています。



開基80年記念まつり、第一回まくべつ産業まつりで好評を博し、すっかり幕別の名物となった「鯉のつかみどり」を、今年のまくべつ産業まつりでも実施します。写真は昨年の鯉のつかみどり風景。

の自然、あゆみ、未来を、皆さんの目で、おたしかめください。

農業祭と物産展

町青年団体連絡協議会と幕別消費者協会が主催の農業祭、岡山市、東郷町物産展示即売会は、今年ふるさと館の開館にあわせて、ふるさと館前で開催します。

農業祭は今年で六回目、青年の皆さんが作ったダイコン、ハクサイ、ゴボウ、長ネギ、長イモ、アズキ、人参、タマネギ、馬鈴薯などを、市価より安く放出するほか、牛乳の飲み放題も計画されています。

岡山市、東郷町の物産展示即売会は、昨年につづいて二回目。昨年は最初のころ

10月の農作業

今年最後の作業集中

十月は馬鈴薯の収穫・運搬・貯蔵、ビートの収穫・搬送、豆類の刈り取りと脱穀調整、秋耕作業など今年最後の作業が集中します。また、大型作業機をひん繁に使用しますので機械の取り扱いに十分注意して事故のないようにしたいものです。

馬鈴薯

馬鈴薯の収穫遅れている場合は凍結前に早めに終えるようにしましょう。貯蔵中の腐敗や他の障害を防ぐため、次の点に注意してください。

露地に穴を掘り貯蔵する場合は土が乾燥してイモが乾きやすい日に行ないます。貯蔵場所は排水がよく融雪水などの流入する恐れのないところを選び、貯蔵に積みあがるイモの高さは一畝以内になります。また貯蔵量五百〜六百キに一個の割合で必ず換気筒を設けましょう。

種子イモは貯蔵中の湿気を防ぐため消石灰をイモ重量の1%を混用します。ただし食用イモ等には絶対に混用しないことです。施設貯蔵の場合で簡易な施設では換気不足や凍結害が発生しやすいので十分注意しなければなりません。施設貯蔵で大切なことは温度を二〜四度C、湿度は八五〜九〇%の一定条件を保ち、呼吸熱や温度が高まらないように機械的な送風換気をおこないます。貯蔵庫内のイモの堆積はバラ積みかコンテナ積みかによって異なりますが、床はスノコ床とし、壁に密着しないよう空間を設けます。堆積の高さは建物の天井の七〇〜八〇%にとどめるとよいでしょう。

豆類

菜豆や小豆はほとんど収穫を終えていると思いますが、刈り取り作業は朝露のあるうちに行ない、日中は二オ積みを行ないましょう。二オ積み期



農業祭・岡山市 東郷町物産展も

十日七日に「産業まつり」、「ふるさと館」完成記念無料解放、「農業祭、岡山市東郷町物産展示即売会」が、それぞれ幕別温泉ホテル前広場で開催されます。この日は衆議院議員選挙投票日ですが、早目に投票をすませ、秋の一日をご家族みんなで楽しい一日を、おすごしください。

産業まつり

今年で二回目の「まくべつ産業まつり」は、幕別観光協会主催、町、商工会、幕別農業協同組合、札内農業協同組合の後援で開催されます。

当日は、すっかり名物となった途別産の

私たちの祖先が残した、その時代の歴史を物語る品々を保存、展示することを目的に、春以来、依田の旧ボウリング場（幕別温泉ホテル前）を改装し準備をすすめていました「幕別ふるさと館」が、多くの方々の協力によって完成しました。

ふるさと館の事業は①展示②収集・保存③教育・普及④調査研究の四つに分けられますが、皆さんから寄せられました生活用品、各種農機具、開拓小屋、十勝川を表現した大型水槽などを、七つのテーマにわけ展示しています。

十月六日には完成記念式を開催しますが当日は歴史の証人であるお年寄りのほか婦人、青年の皆さんに協力を願ひ、手うちソバ、ソバかき、馬鈴しょ、とうきびの塩煮などで、その昔をしのびながら、全国でも例のない水槽の中の秋味の勇姿をみながらオープンを祝うことになっています。七日は午前十時にテープカットで開館いたします。

なお、七日から十日までの間は、オープンを祝って無料解放いたしますので、幕別

夫

幕別町と当市の若い皆さんの交流が絶えることなく続いていることに深い敬意を表します。

崎平

今回、当市の物産展が開催されますが、これも青年の皆さんの友好の輪が更に広がった結果といえ、また、物産の品々から遠く祖父母の地へ思いをはせている方もいらっしゃると思います。物産展の開催に心からお祝いを申しあげます。

市長

岡山市長の地へ思いをはせている方もいらっしゃると思います。物産展の開催に心からお祝いを申しあげます。

誠

幕別町と東郷町が友好町として調印を結んで以来、両町の親善交流事業が着実に成果をあげられておりますことは、まことに喜ばしいことであります。

木村

また、青年の皆さんが昨年に引きつづき当町の物産展示即売会を開催されることになりましたが、この催しが更に友好親善のきずなになることを期待し、本事業の成功を心からご期待申しあげます。

東郷町長

幕別町と東郷町が友好町として調印を結んで以来、両町の親善交流事業が着実に成果をあげられておりますことは、まことに喜ばしいことであります。

れていました。アッという間に売れてしまい、期待していた方をガッカリさせたため、今年は何れの品物も三倍以上の量を確保しています。

即売する物産は次の通りで、この物産展示即売会の開催にあたり、岡山市長と東郷町長からメッセージがおくられました。

▼岡山市 備前焼各種、マスカット、柿、クリ、マスカット、吉備団子、い草製品各種

▼東郷町 米焼酎、みかん、手づくりのオレンジジュース、しいたけ、お茶



▶ふるさと館の内部

分が一六〇程度で脱くします。脱くのは天候のよい日を選び脱く機の回転を四百五十～五百回転で行ない、回転速度の上げすぎによる豆の破砕を防ぎましょう。

調整にはトラミなどを用いてゴミやクズ豆を取り除いて品質を高めます。また、過水分のときは水分が一六％以下（歯でかむと歯形がつかず破砕する）になるよう乾燥を十分に行ない、袋詰めをして出荷します。

種子は数年経過すると退化したり種子伝染病（炭そ病、かき枯病）のため減収要因となります。早めに農協に申し込み、できるだけ新しいものに取りかえましょう。

ビート

十五日頃から収穫作業がはじまりますが、収穫前に機械の整備や調整を十分におこない、また、栽培面積や労働力を考えて集出荷日までに収穫を終えるよう運行計画を立てて、機械の共同利用や共同作業で効率的に収穫を終えるようにしましょう。

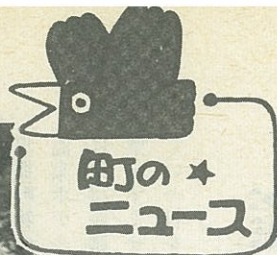
秋耕作業

傾斜地など融雪水による土壌流亡の少ない平坦地では、秋耕作業をしておくことで来春の播種作業が早くなります。

秋耕をする前に不良土壌では、土壌養分の改善や酸度の矯正を目的に石灰や燐りんなどの土壌改良剤を施用します。また、ビートの茎葉やクローバー畑など、ほ場残さ物の多い畑は、地温のあるうちに、すき込み腐敗をできるだけ進めます。

牛乳生産の秋落ち防止

放牧草の生産は六月に比べ五〇～六〇％に落ち放牧草だけに頼っている栄養不足となり、乳量の低下、繁殖成績、病気に対する抵抗性などに影響しますので、栄養不足のないよう早めに良質の乾牧草やサイレージで補うようにしましょう。



恒例の途別地区の運動会が今年も9月6日に開催され、秋空のもと楽しい1日をすごしました。



明倫地区の開催および明倫小学校の開校50周年記念式典が9月2日に児童のほか多くの来賓も出席し開催されました。



待望の依田近隣センターが完成し、喜びの落成祝賀会が9月8日に新築なった近隣センターで開催されました。



泉町町内会役員手作りの宮型と俵みこしが、札内神社の秋祭りで初めて披露され子供たちの元気な掛声に惜しみない拍手がおくられました。

重い障害をもつ 子の教育



白人小学校

山本宮子

あかしや学級の子供たち

上

今年度より養護学校も義務教育になりました。養護学校には、知恵おくれの子のためのものと、肢体不自由児のためのものと、病・虚弱児のためのものの三種類があり、障害をもつ子供たちは、その障害に応じて各養護学校で学んでいます。

義務教育になる前は、養護学校

の数も非常に少なかったため、教育をうけることのできない子供がたぐさいました。同じ障害でも比較的程度の軽い子しか入学することとがでなかったのです。ですから重い障害をもつ子（例えば、盲と肢体不自由、聾と知恵おくれなど）は、施設にはいったままであったり、自宅でぼんやりと日々を

「あかしや学級」は、昭和五十一年に白人小学校に、そして五十二年には札内中学校にも開設された肢体不自由児のための特殊学級です。現在、小学生四名、中学生三名が、十勝愛育園に併設された教室で、楽しく学んでいます。七名

全員が脳性まひで、重度の肢体不自由児です。ですから、一人で歩けないばかりか、一人で座っていることも難しいような子がほとんどです。そして、しゃべることもできる子は二人だけです、

おくっていたりしたのでしたが、完全義務化が実施されたため、そういう子供たちも現在、ほとんど全員が教育をうけることができるのです。

しかし、重度の子供たちの教育が、今まで全くなされていなかったわけではありません。義務教育になるずっと前から、各地で特殊学級や訪問学級が開設されて、いち早く教育がすすめられてきていました。「あかしや学級」もそのひとつです。



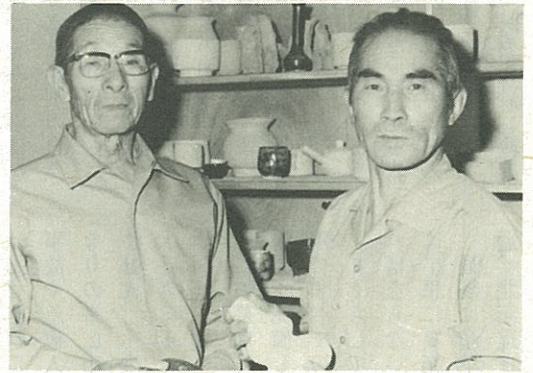
◀ キャンプ学習を楽しむ児童たち

日常の身辺処理（衣服の着脱、食事、排泄など）も、すべて介助しなければできないような子供たちなのです。

開設してから五年目を迎えた現在、困難だと言われるこの教育にいち早く取り組んだ幕別の肢体不自由学級ですが、そこで学ぶ子供たちは、そろってとても明るく元気です。体はたとえ思うように動かなかなくても、みんな学校へ来るのが大好きで、勉強をしたり、訓練をしたり、ゲームに興じたり、とにかく何かに夢中になった時の子供たちのひともはキラキラとまぶしいほどに輝きます。学校には友がいて笑いがあり、励ましがあります。子供たちは、明日を待つ生活を確実に始めているのです。

陶芸の勉強に岡山へ

しらかば大学の工藤、坂下さん



陶芸の勉強で岡山へ行く工藤さん(左)と坂下さん

青年の皆さんが今年も国内研修の旅に出かけますが、この研修旅行に、お年

寄り二人が参加し、岡山県下で陶芸の勉強をすることになりました。

今年の国内研修は十一月十五日に出発し、岡山市、東郷町で例年どおり地元の皆さんと交歓会を開催し、今後の農村のあり方、青年活動などについて研修することになっています。

青年の皆さんが訪れる岡山県は備前焼の本場ですが、しらかば大学で陶芸に生きがいを見せている本町のお年寄りを、この本場で勉強させてみたい、と岡山市の関係者に打診したところ、伊部町の窯元が心よく引き受け、初の陶芸留学が実現しました。

陶芸留学をする方は工藤

智明さん(73歳・春日町)

と坂下登さん

(67歳・南勢)

の二人。青年の皆さんが各地で研修している間、窯元に滞在して勉強することになっていますが、お二人とも研究熱心な方ですので、帰町後は指導者として、大きな成果をあげるものと期待されています。

総合で全道優勝

幕別スイミングスクールの四人娘

九月九日に室蘭市営プール(50才)で開催された日本スイミングクラブ大会北海道ブロック大会で幕別スイミングスクールのチビッコが総合で優勝、大きなトロフィを持ちかえりました。

この大会に出場したのは田村美穂子さん(幕小三年)、堀口友美さん(幕小二年)、横田智美さん(南小三年)、藤川幸さん(南小三年)の四人。二百才リレーで3分01秒5(二位は3分21秒3)、

二百才メドレーリレーは3分15秒2(二位は3分34秒6)と何れも新記録で一位となったほか、個人でも横田、藤川さんがバック、平泳で、田村、堀口さんはバタフライで、それぞれ新記録を出し、全道の水泳関係者から注目されました。

大石町長に報告する四人娘



今年も十月十二日から三十一日までの間、輸送繁忙期交通事故防止特別運動が展開されます。

これから晩秋にかけて

て農産物や各種建設工事資材などの輸送が活発化し、また日没が早まるため、この時期に交通事故が多発します。特に農家の皆さんは忙しさのあまり無理な日程を組み、これが原因で事故をおこす例が多いようです。計画的に作業日程を組み、事故のない明るい毎日を送りください。

各種の輸送が活発化します

10月12日から31日まで

事故防止特別運動を展開

ところで、最近の交通事故の発生状況をみると、農業者が市街地でおこす例がたいへん多く、また、町村道や農道での事故が、特に多く発生

しています。これらの道路は比較的車の流れが少ないため、スピードの出し過ぎなど、やや緊張を欠いた運転ぶりに原因があるものとみられています。過労や過積載などによる重大事故を防止し、あわせて歩行者の保護に十分ご注意ください。

また「車の少ない道路で事故を起こすことはない」という考えからか、任意保険に加入していない方が特に農村部に多く、人身事故を起し大変こまっていますという話も聞きました。いつ事故の被害者被害者になるかわかりません。車を運転する方は自分自身を守るために、出来るだけの対策を樹てるようにしたいものです。

幕別中学校一年

井上敬子

私が生まれ育った、この幕別町は、自然にかこまれた静かな町です。農業、畜産業がさかんで広い畑にトラクターの力強いエンジンの音がひびきます。また、伝統ある古い歴史をもち、その面影がまだ所どころに残っています。

このようなすばらしい町ですがまだ色々な問題があり、よりすみやすい幕別町にするためには、工夫しなければならぬ事がたくさんあります。私は、これを文化的な面から考えていこうと思います。

まず公園、つまり、人々の憩いの場所を作る事が大切です。最近の幕別町は、子供が危険な所で遊んでいるのをよくみかけ、まして、親子でゆっくりとくつろいでいる、のどかな風景をみる事はなくなりました。豊富な幕別の自然をもっと有効に使って、広いしばふの広場、色とりどりの花が咲く花だん、整備された遊園地、そしてそこに、たくさんのお親子がくつろいで遊んでいる……そんなようすが幕別町のあちらこちらに見られるように配慮してほしいと思います。そうすれば親子のふれあう時間が多くなり非行などに走る青少年も少くなるのではないでしようか。このように私は考えました。

次に、図書館、医療施設、産業

発展について考えてみたいと思います。

最初に図書館については、今、本を読まない子供が大変多いといわれています。本は人の心を広く豊かにする大切な物です。どんなに科学が進歩しても、本は、あふれるばかりの知識と人間の生き方などを永遠にもっています。この大切な本が幕別には足りないのです。小さな子供からお年寄りまで町民全体が本を読み、豊かな心を育て、そして町づくりにがんばってほしいと思います。この幕別町を読書の町にするよう努力したいのです。

次は医療施設の問題です。町の病院は必ずしもすべての町民に十分な治療はできません。たとえば歯科の場合など診察してもらうのに長い期間かかります。そのため病気が悪化する事にもなりかねません。それに総合病院がないので事故や急病人がでたりすると、となりの帯広市にいかなくてはなりません。その間に、その人の命が……と考えると、これは重要な問題です。

この幕別町に設備の整った医療施設を完備して、住民は、この幕別ですべての病気をなおし、安心してくらしていけるようにしなければならぬと思います。この事は早急に実施してほしいです。

最後に産業発展については、最近、北海道にも各種の工業が進出

しており、それらの工場の中には自然をはかいていているものが、かなりみられます。北海道は、この大自然を生かした産業を発展させればよいと思います。畑や酪農を中心とした日本の台所となるような姿がのぞましいと思います。

幕別町も同じで、畑があり山や川があり、そして牛や小鳥がいて……このような自然をいつまでも保ち続けたいと思います。

この私達の幕別町が、いつまでも文化的で平和な町であり、今より更に暮らしやすい町にしていきたいと思っています。

相川小学校六年

坂口由美子

私たちの住んでいる幕別町は、

他の町に比べて住みよい町です。それに、まだまだ自然があちこちに多く残されている。でも、でもその自然をよごそうとしている。だから、そういう自分たちを深く反省しなくてはならないと思う。

それに自分たちの町だから、もっと大切にしなければならぬ。

もし、町民一人一人が、そのことにたいして深く目を向けていくと町は今までよりもきれいになり、町をむやみやたらに、よごす人はずっと減ってくると思う。

まだまだ幕別町は将来性があるのだから、今からきちんとした町をきずきあげていかなくてはなら

ないと思う。もし、これから先のことを考えずに、むやみやたらに

よごしていったならば、環境をはかいていくようなことをしたら、私たちの子供や孫たちは、きっと

今までの人を一生けいべつの目でいつも私たちをうらむことではない。だから、これからの人のため

でもあるし、私たち町民のためでもあるのだから、住みよい幕別町にするにはどうしたらよいのか、どのようにしたら、みんなからよろこばれるか、という大切なことを私たちはわすれていたのかもしれない。

だから、このような大切なことを見のがさず、深く目を向けていかなければならないと、私は思う。

幕別中学校二年

太下ゆかり

私たちの住んでいる幕別町は公

害もなく豊かな自然に囲まれている、とても住みよい町だと思えます。しかし、このすばらしく豊かな自然に恵まれている幕別の町を歩いてみると、歩道などに植えられている草木が折られたり、葉をちぎられてしまったり、木の皮をはがされてしまったりして、とても植えた時から想像もできないような、みじめな姿になってしまっているのを見かけます。

同じ幕別に住んでいる人が、このようにふるまうに幕別に住む人たちは、

みんなのために植えられた木を、きずつけてしまうということは、とてもかなしいことだと思います。そして、もっと自分の町のものを大事にしてほしいと思うのです。

そのほか、道路のすみに落ちていく数多くのゴミ、たばこのすいがらなども、よく目につきます。

私も、まえに何度か道路にゴミを捨ててしまったことがありましたが、一応ゴミ箱が近くにないかとあたりを見回すのですが、見あたらないと「こういうことは悪いことだ」と、わかっていても、つinaげてしまうのです。こういう時

ゴミ箱があればと思うのですが、まえの木の例のようにゴミ箱を設置しても、すぐ壊されてしまったりして使いものにならなくなるのではないかと思います。

私が思うには、まず幕別に住む人みんなが、公共物を大切にすること、それができれば、よいと思うのです。そうすれば木も折られるようなことがなく、そしてゴミ箱を設置しても壊されるようなこともないので、ゴミは、ほとんどゴミ箱に捨てられ、この町も、きれいになるのではないかと考えたからです。

私は、この幕別に、ゴミが一つも落ちていなく、そして公共物はみんなが大事にし、いつまでもきれいだ。そんな町になれたらどんなにすばらしい町になることだろうと思います。